

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月6日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場14-33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びにその他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井 仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ屋6-38
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 ・施設の使用許可に関すること。 ・施設整備等の維持管理に関すること。	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部観光課 施設グループ	
	電話	0178-43-9536 (直通)
	e-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	・令和5年5月21日、千葉県幕張メッセで開催された地球科学分野における国内最大の学会である「日本地球惑星科学連合(JpGU)2023年大会」の高校生によるポスター発表において、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアが2018年大会より参加を継続し、6年目にして初となる「奨励賞」を受賞した。 ・多くの皆様から「魅力ある施設」として利用されることを目指し、「魔法の水」と呼ばれる好適環境水を使用した水槽展示や、開館35年目を記念した企画、市内小中学校と連携し開催する「卒業おめでとう展」、特別企画「南極の水に触ってみよう」、開館時間を延長する自主事業「夜のマリエント」等の事業に取り組んだ結果、60,127人(前年度対比104%)の入館者を確保することができた。 ・ホームページを活用した広報活動の他、マリエント通信、企画展ポスターを制作し、幼・保育園、学校関係を含む県内外約1,500箇所に配布、「はっふる隊」の受入れ、体験企画の実施に積極的に取り組み、団体利用の増加につなげた。 ・スタッフの質の向上を目指し、リスク管理に係わる研修会へ参加したほか、潜水土資格をはじめとした各種資格を取得した。 ・銀行取引業務のオンライン化に取り組み、業務の効率化を図った。 ・青森県立八戸高等支援学校・各中学・高等・専門学校の職場体験の他、青森放送と連携した「ジョブキッズあおもり」や、市内公民館講座の受入れを積極的に実施し、公共施設としての利用と社会貢献の役割を果たすとともに、幅広い分野と連携を深めながら、企画展示の充実や人材の確保に向け取り組んだ。 ・安全安心の施設を目指し、避難訓練の実施、日々の巡回・点検を随時実施した。また、各階トイレ手洗い場に子ども用踏み台の設置や、サニタリーボックスの増設など、様々な多様性に対応した取り組みを進めた。 ・安定的な施設維持管理のため、担当課と連携しボイラー設備の修繕を実施し、冬期の暖房を確保することができた。 ・10月にレストランがオープンするまでの期間、自主事業・売店事業充実の為、6～7月にキッチンカーの出店を実施し、来館者へのサービス向上へつなげることができた。
----	--

今後の目標	・ 3階の展示について、国・県・市町村、漁業者、漁業協同組合との連携をより一層強化し、展示の充実化を図るとともに、歳時記、地域行事など季節感あふれる展示内容と館内の飾付を工夫し、幅広い年齢層が興味・関心を持てる企画に取り組む。また、施設の開館35周年を記念した企画を展開し、地域との連携と、入館者増加へとつなげる。 ・ 休館日を最小限とし、7～8月の開館時間を1時間延長することで入館者の増加を図る。 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構の協力のもと、“はちのへ「ちきゅう」情報館”を常に最新データの展示となるようリニューアルし、最先端の海洋科学分野を地方においても身近に触れることができることを周知する。 ・ 多くの入館者の皆様にご満足していただけるよう、館内外の環境整備、電話の対応・お客様の案内・展示物掲示物への説明などの更なる質の向上を目指す。生体展示のキャプションや説明内容を研究成果や根拠あるものにするために研究機関との連携を深め、専門性と親しみやすさの両立を目指す。 ・ 企画充実と飼育技術の成長を促すために、飼育の知識・技術に関する資格取得を目指し、お客様の満足度を上げ、リピーターにつなげるように努める。 ・ 指定管理業務に真摯に取り組むため、スタッフの質の向上を図り、防火管理者や救急法の資格取得へ積極的に取り組む。 ・ いつ発生するかわからない災害への対応、お客様安全の確保を確実なものにするため、防火等施設の安全管理に備え、職場内研修や訓練を実施する。 ・ 設備機器の経年劣化や自然災害による故障に備え、各設備の点検や施設見回りを行い、異変の予兆を見逃さないようにするとともに、休館日は、施設設備と機器維持点検を重点的に実施する。 ・ 施設設備の必要に応じた改修を行うと共に、スタッフによる日常における施設や設備の点検・トイレを含む施設の清掃・見回りを基本業務とし、早急な問題発見と解決、スタッフの目視による入館者の安全の確保をさらに徹底する。 ・ 県内唯一の水産科学館として、国・県・市の協力のもと、水産業の現状とその改善に取り組む現状を生体展示などを通じて伝えとともに、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ（ジュニア・シニア・プラチナ）の活動を更に発展させ、活動の充実、会員増加を図りながら水産業への興味関心を広げ水産業関連への従事者増加へとつなげられるように取り組む。 ・ 原油価格・物価高騰の状況が続いているため、光熱水費や発送経費等の削減に更に努める。 ・ 地域に支えられて成り立っている企業組合であるとの認識をさらに理解し、地域の企業や教育機関等との連携をさらに深め、働く場の確保や自立を目指す障害者雇用を積極的に取り組む。また、高校生の活動や取り組みの「紹介の場」として施設利用を積極的に図る。
-------	---

■市（所管課）の総合評価

評 価	・ これまでの指定管理業務で培われたノウハウを生かし、各種企画や展示を実施していた。 ・ 附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活発な活動の結果、JpGU2023大会において奨励賞受賞という成果をあげていた。 ・ 地域と連携したイベント等の開催や開館時間の延長等による来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。 ・ 臨時休館日には、館内外設備、水槽設備、修繕箇所の点検を実施していた。 ・ 施設の維持管理では、適切な管理がなされており、経費の削減に努めていた。 ・ 各学校等の職場体験の受け入れを積極的に実施するとともに、幅広い分野との連携による企画展示の充実を図っていた。 ・ 年間入館者数は60,127人と目標の60,000人を達成しており、上記取組の成果であると評価でき、総合的にみて良好な管理運営が行われていたと評価できる。
指摘事項	特になし

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	条例（施行規則）で定められている休館日（月曜日）を開館したほか、開館時間を延長し臨時休館を必要最小限に留めるなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・自主事業により季節ごと（年4回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長。 ・臨時休館日は、令和5年5月8・9・10日、7月10・11・12日、9月11・12・13日、12月19・31日、令和6年1月15・16・17日、2月13・14・15日。（計17日間。うち1日は市要請による。）
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	◎	令和2年3月に雇用した障がい者1名を現在も継続雇用している。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常によく行われていた。 ・家庭動物管理士3級 1名資格取得。 ・潜水土免許 1名資格取得。 ・2級愛玩動物飼養管理士認定試験 1名資格取得。 ・従事者対象の防災学習会を実施。 ・その他、各研修会への参加。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・エレベーターチェアを設置した。 ・避難訓練を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。また、管理はそれぞれ別の人物が行っていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	○	協定書で指定する保険に加入していた。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）

施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者数は前年度実績及び当初の目標を上回った。 入館者増加に向けて企画展示では旬の話題を取り入れ、広報紙やホームページを利用して積極的な情報発信が行われていた。 ・令和4年度 目標入館者数 55,000人 実績入館者数 57,672人（対前年度比131%、目標達成率104%） ・令和5年度 目標入館者数 60,000人 実績入館者数 60,127人（対前年度比104%、目標達成率100%）
自主事業	○	入館者増加に向けて、各種自主事業を積極的に企画・実施していた。 ・売店事業 ・自動販売機事業 ・水の生き物 特別体験事業 ・マリエント市 ・企画「夜のマリエント」開催 ・キッチンカー販売事業 ・元旦の開館及び来場者へのお振舞い
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上を図った。 <主な活動内容> ・JpGU（日本地球惑星科学連合）2023大会 ・海上自衛隊護衛艦「おおよど」多用途支援艦「すおう」艦内見学 ・令和5年度八戸市民大学講座「JAMSTEC理事 倉本真一氏」の講義を受講 ・令和5年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会での活動発表 ・八戸イカの日大研究 ・三陸ジオパーク大研究 ・水産市場大研究 ・はちのへ「ちきゅう」情報館開館16周年、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ発足16周年記念式典

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	○	利用料金収入及び実費収入は、食堂施設使用料及び電気等実費徴収の減による影響等で計画を下回り、ちきゅうたんけんクラブの活動の幅が広がったことにより事業費支出が計画を上回ったが、納税額が想定より下回ったことと、電気・ガス価格高騰対策支援補助金収入により黒字となった。
		(単位：円)
自主事業の収支状況	○	収支は黒字となった。 収入：6,325,133円 支出：3,916,002円 収支：2,409,131円

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ウェブサイトや広報紙で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 185枚(前年度：259枚)
苦情・要望等への対応	○	苦情、要望等に対し、適切に対応していた。 令和4年度実績 25件(苦情7件、要望18件) 令和5年度実績 13件(苦情3件、要望10件) <苦情の内容> ・館内が暑すぎる。 ・タッチ水槽内の魚の管理状況について。 ・質問への対応について。 <要望の内容> ・幼児用トイレの設置。 ・うみねこシアターにおける、うみねこ3D上映。 ・タッチ水槽前手洗い場に石鹸の設置。
個人情報の保護	○	個人情報等保護の規程が整備され遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)

秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	説明文の掲示を低い位置にする等の丁寧な工夫がなされていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況 ・利用者からの直接の意見や、館内に設置したアンケート箱による利用者の意見を参考に、業務の改善を随時実施した。 ・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理や運営に反映した。 ・日常における施設及び設備の点検・見回りをを行い、必要な修繕を随時実施した。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況 月例報告書が遅延なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	22回	4月13・20日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		5月14・23日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		6月26日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		7月14・23・26日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		8月18日	担当	施設運営等に関する打合せ
		9月7日	担当	施設運営等に関する打合せ
		9月29日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		10月7・16日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		11月9・26日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		12月4・6・15・28日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		1月9日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		2月9日	担当	施設運営等に関する打合せ
		3月7日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	実施結果			
	施設運営や修繕等に関する打合せを行った。			

※GL：グループリーダー